観光で日本の活力生み出せ

「観光立国・日本」の実現へ一致団結

特別鼎談

観光業界が長く待ち望んだ「観光庁」が発足した。国が、観光を経済や地域社会を支える新しい柱とする戦略を国内外に示したといえ、その意義は極めて大きい。中村徹・日本観光協会会長、船山龍二・日本ツーリズム産業団体連合会（TIJ）会長、間宮忠敏・日本政府観光局（JNTO）理事長の3氏にお集まりいただき、観光庁への期待と今後の課題を聞いた。聞き手は江口恒明本社社長

（東京・紀尾井町の福田家で）

日本ツーリズム産業団体連合会
船山龍二会長

日本観光協会
中村徹会長

日本政府観光局（JNTO）
間宮忠敏理事長

国民の観光理解が進む
総合調整機能の発揮を
大局的見地で政策立案

中村氏　**船山氏**　**間宮氏**

――業界が実現を待ち望んだ観光庁が発足した。どう受け止めているか。

中村　観光関係者が待ち望んでいた夢が現実となり、感慨を覚える。若い時から、観光は産業として、またそれぞれの人の人生にとって大切なものという信念で携わってきた。自分の生きているうちに観光庁ができて本当に良かった（笑）。国民の観光への理解も格段に進むだろう。政策官庁のみならず、事業官庁としての役割も果たしてもらいたい。特に、地域活性化のためにどう観光を役立てるか、その道筋を具体的に示してほしい。

また、初代長官は観光についての知見が深く、行政経験もたけている。加えて、新しりを持って議論されたことはない。小泉純一郎首相はじめ、歴代の総理が「観光」という言葉を口にしている。かつてないことだ。観光庁発足は国が本気になって観光振興しようというショションはいろんな変遷をたどったが、ようやく観光庁という大きな新しい組織ができた。20世紀、日本はモノ作りで成長してきたが、21世紀は大交流時代であり、その基幹産業として観光がクローズアップされ、「日本は観光立国を国策とする」という明確なメッセージを打ち出したといえる。

今後は観光でどういう国づくりをしていくかだ。国民生活にかかわるだけに、大局的・長期的な見地を持って政策立案してほしい。

間宮　政府部内の観光セクターは各省庁にまたがっており、観光庁に総合調整機能を存分に発揮してほしい。やるべき課題（5つの目標）はっきりしている。実践あるのみ。後は地方自治体や地域住民、観光業界のやる気にかかっている。

5つの課題に全力
後は実践あるのみ

船山　JTBに入って47年になるが、今ほど観光が広がり分野であることが改めて分かった。インバウンドにとっては厳しい世界情勢だが、逆にいえば学習のいい機会だ。日本は観光資源大国であり、多様性とホスピタリティは他国には負けない。その良さを需要サイドに立った切り口でどう提供していくか。JNTOとしては、日本という商品の品質向上と販促をこれまで以上に強化し、打って出る姿勢で臨む。

――メーンターゲットはやはり中国か。

間宮　現在、インの7割はアジアから。潜在需要の大きさを考えると中国が最大の市場になることは間違いない。

――景気が低迷し、消費者の節約ムードも高まっている。旅行市場の冷え込みが心配だ。

中村　景気もそうだが、若者が旅行に興味を示さない傾向が見え気がかりだ。若者の気持ちを理解するよう、業界は勉強してほしい。その一方で、当面はシルバーツーリズムを充実し、中高年齢層が旅行しやすい環境づくり、旅行に行って良かったと思わせる工夫が大切だ。

船山　地域発着の商品造成、いわゆる着地型旅行を推進するとともに、エコやグリーンなどニューツーリズムについても腰をすえて取り組む。家族旅行の健全な発展も重要だ。旅行が夏休みなどに集中し、1回行くと20万～30万円の費用がかかる。もっと安くし、何回でも旅行に行けるよう業界全体で考えなければならない。また、連泊滞在型旅行を定着させるためには、少なくとも2～3泊の体験・交流・学びを盛り込んだツアー企画など工夫が必要だ。やることはたくさんある。

市民の活動に支援策を
着地型旅行の推進必要
訪日外客の潮目に変化

中村氏　**船山氏**　**間宮氏**

中村　地域に目を向けると、市民運動やNPO法人などが中心になって観光地づくりに取り組む動きが出てきている。しかし、内実は厳しい。

間宮　温泉旅館は日本文化の粋。外国人のあこがれの1つだ。とはいえ、旅館だけがあればいいというわけではない。B&Bも必要であり、多様性のある受け皿を用意しなければならない。

中村　国内外を問わず観光客は団体から個人へシフトしており、旅館もそれに対応しなければ生き残りは厳しいだろう。個人対応のサービスを観光庁にはぜひこうした動きを支援、リードしてほしい。着地型旅行を推進するには地域の協力が欠かせない。もちろん、旅館・ホテルもだ。一体となって取り組まなければ定着はしないだろう。

――訪日外客の動きは？

間宮　6月までは良かったが、7月に入って潮目が変わった。金融不安などの影響が出ており、観光は政治経済に左右されるマーケット性の高い分野であることが改めて分かった。インバウンドにとっては厳しい世界情勢だが、逆にいえば学習のいい機会だ。日本は観光資源大国であり、多様性とホスピタリティは他国には負けない。その良さを需要サイドに立った切り口でどう提供していくか。JNTOとしては、日本という商品の品質向上と販促をこれまで以上に強化し、打って出る姿勢で臨む。

――メーンターゲットはやはり中国か。

間宮　現在、インの7割はアジアから。潜在需要の大きさを考えると中国が最大の市場になることは間違いない。

また、2020年には2千万人にするという目標がでているが、その場合、ターゲットとなるのは①GDPの高い国②人口が多い国③資源国――などだろう。

その際は国単位ではなく地域で見ることが重要だ。EUは小国が多いが総人口は5億人近い大マーケットだ。ただ、海外プロモーション体制など従来路線のままではとても追いつかない。2千万人は大変な数字と認識した上での抜本的な体制作りが求められる。

――外客の受け皿として旅館の果たす役割は大きい。もっとPRすべきだ。

船山　旅館は貴重な観光資源で、地域のオリジナリティーを高めるには欠かせない存在だ。いかに安く提供できるかがかぎを握る。

船山　邦人旅行会社にとってインバウンドは扱いが難しい分野だが、県庁所在地にある支店の1つには「インバウンドコーナー」を設け、旅行案内をするのも手だ。

（31面に続く）

大自然に囲まれた信州最大のロケーション

池の平ホテルとファミリーランド全景

春

夏

秋

冬

白樺リゾート池の平温泉

ホテルラウンジから見た風景

カラフルリゾート

池の平ホテルグループ

白樺高原ホテル
長野県北佐久郡立科町白樺高原
TEL.0267-55-6204

白樺湖プラザ21
長野県茅野市白樺湖
TEL.0266-68-2100

佐久平プラザ21
長野県佐久市佐久平駅東2-6
TEL.0267-65-8811

世界の影絵・きり絵ガラス・オルゴール美術館

ドライブイン霧ヶ峰ビーナス
長野県諏訪市霧ヶ峰高原
TEL.0266-52-7863

黄金の森
ユリとキスゲの丘

50m²の大自然に広がる県下最大級の全天候テーマパーク
白樺リゾートファミリーランド
（営業期間 4／下旬～11／上旬）

レイクランドエリア
ファラオの探検
ビックリハウス
スライダー
トランポリン
輪投げ
小型自動機
アーケードゲーム
ゴーカートレーシングコース
ゴーカートマウンテンコース2人乗
ゴーカートマウンテンコース1人乗
ボブスター
スペースセブン
野外ステージ

ミニカナダエリア
パターゴルフ
ミニレマン湖ボート
森林鉄道
小型自動機
世界昆虫館
キッズサイクル
森林迷路
シャトルカヌー発着所
湿生花園
マレットゴルフ・パークゴルフ

ツインパークエリア
世界の影絵・きり絵
ガラス・オルゴール美術館

子供の国エリア
ポリーランド・芝生公園
楽焼
アドベンチャーカヌー

スポーツワールド
デュアルショット 受付
テニスコート
グランドゴルフ
オートキャンプ

ドライブイン プラザ21
食事処・そば処
お土産処

東京から新幹線で69分・佐久平駅からバス69分・タクシー45分
東京から関越・上信越自動車道で2時間30分
JR茅野駅よりバス40分、タクシー30分
東京・名古屋から中央自動車道で2時間30分
諏訪南I.Cより八ヶ岳エコーラインで約35分

信州ビーナスライン白樺湖・白樺高原　来春八ヶ岳エコーライン開通予定〈中央道諏訪南I.Cより八ヶ岳エコーラインで約35分〉

IKENOTAIRA GROUP 白樺リゾート 池の平ホテルグループ
〒391-0392 長野県茅野市白樺湖
TEL（0266）68-2211(代)　FAX（0267）55-6116
ホームページURL　http://www.ikenotaira-hotel.co.jp/
総合予約センター　TEL（0266）68-2100　FAX（0267）55-6369